

はかるたいせつPROJECT

～「健康でいきいきとした毎日」はみんなの思い～

食の安全や健康づくりに取り組んでいます

「はかるたいせつプロジェクト」は、商品検査センター開設50周年の2017年にスタート。商品はもちろん、一人ひとりの食習慣やより良い体づくりのために「はかる(計る、測る、量る)」ことを大切に考えた健康づくりの取り組みです。



はかるたいせつプロジェクト

たべるをはかる

東京大学の佐々木敏先生^{さとし}考案の食習慣を調査するBDHQを活用した学習会を開催。健康づくりのきっかけとなっています。



食と健康をテーマにした学習会

10月の「商品検査の日のつどい」では、ラジオ関西のスタジオからオンラインでゲノム編集食品について配信しました。また、ラジオ関西の番組内でコープこうべの情報をお知らせするコーナー「コープ・スコープ!」の毎月第3・第4火曜日は、食の安全について伝えています。



はかるをひろめる

店舗の共済相談会で、健康測定を実施。健康への関心を高めてもらうとともに、体の状態やライフステージに合わせた保障の提案も行っています。



商品検査センターは2023年度、4203件の商品検査及び3120件のお申し出調査を行いました。詳細は広報誌『Hakaru(はかる)』をご覧ください。



カラダをはかる

感染症予防や食中毒予防の基本は手洗い。正しい手洗い方法の普及活動を行っています。



商品検査センターで手洗いの実習▶

加齢により心身の活力が低下した状態「フレイル」。兵庫県と「フレイル予防に関するアンケート」を実施しました。心身の状態を知ってもらい予防法を伝えています。



オーラルフレイルについての学習会

ひょうごまるごと健康チャレンジ

2018年から兵庫県生活協同組合連合会、兵庫県内の医療生協と共に、「ひょうごまるごと健康チャレンジ」を実施。自身が選んだ健康づくりのプログラムを継続できるようサポートしました。

